

本町橋



1. 橋の現況

周辺エリア

- 本町橋が架かる東横堀川では、「東横堀川等の水辺の魅力空間づくり基本方針」がとりまとめられ、公民連携による利活用・維持管理を見据えた事業を推進していくこととされています。
- 本町橋に近接してβ本町橋(「本町橋BASE」にぎわい創造拠点創出・管理運営事業)が2021年8月28日に開業しています。この施設では、日常的な水辺のにぎわい創出をはじめ維持管理事業に取り組むこととしており、橋上での緑化、清掃といった活動を行っています。



β本町橋



東横堀川遊歩道と船着場

本町橋

- 橋長:46.50m
- 幅員:21.56m
- 竣工:1913(大正2)年

【特徴】

～インフラ～

- 橋詰に緑化活動を推進する散水柱を設置
- 河川事業により、遊歩道に電気設備を設置



周辺図

ポテンシャル・連携施設

本町橋は現役の橋としては
大阪市内最古の橋“本町橋”



市民活動



本町橋船着場



ライトアップ



橋下の遊歩道

- 中央区役所が窓口となり、市民主体による橋洗いが定期的に行われています。

- 東横堀川で初となる船着場で、公園と一体となった都市型公民館β本町橋の地先に立地しています。

- 桁の側面と下部、橋台のライトアップを行っています。
- アーチ桁のライトアップが行われている橋下の遊歩道は、飲食や展示など多様な活動を行うことができます。

2. 社会実験の取り組み内容と検証結果

2006年～2021年



2015年 東横堀川初の船着場「本町橋船着場」整備

2021年 水辺のにぎわい拠点「β(ベータ)本町橋」開業

2024年 水都大阪ブリッジテラス2024秋 2024.10.26～27



- バルコニー利活用をはじめ、休憩スペースの提供、ライトアップ実験、本町橋100年会コア会議などを実施。
- 社会実験に先立ち10月13日には、緑化活動として「ハンギングフラワーワークショップ」を開催。

【検証結果】

- ① ライトアップは夜間における安全性の確保とともに、夜間のアイキャッチとして有効であることを確認
- ② バルコニー部の多様な活用に向けては、石材が支障になることを確認
- ③ ハンギングフラワーは演出要素として有効であるが、維持管理面で負担が大きいことを確認



バルコニー部の石材撤去

2025年 水都大阪ブリッジテラス2025春 2025.5.8～11

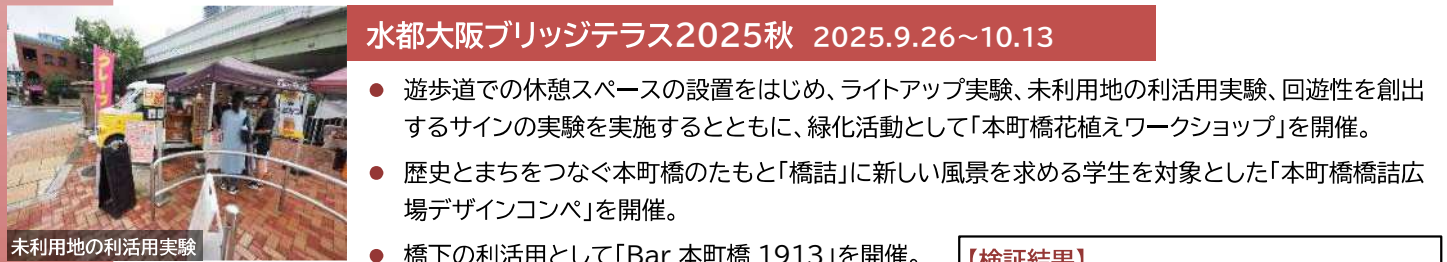


- 社会実験に先立ち4月27日には、緑化活動として「本町橋花植えワークショップ」を開催。
- 遊歩道での休憩スペースの設置をはじめ、ライトアップ実験、未利用地でのインフォメーションブースを設置。

【検証結果】

- ① 本町橋と北東部の未利用地は、橋と遊歩道をつなぐ場として有効であることを確認
- ② 橋を巡る水と光のモニタークルーズを通じて、橋詰や橋下の活用ニーズを確認

水都大阪ブリッジテラス2025秋 2025.9.26～10.13



- 遊歩道での休憩スペースの設置をはじめ、ライトアップ実験、未利用地の利活用実験、回遊性を創出するサインの実験を実施するとともに、緑化活動として「本町橋花植えワークショップ」を開催。
- 歴史とまちをつなぐ本町橋のたもと「橋詰」に新しい風景を求める学生を対象とした「本町橋橋詰広場デザインコンペ」を開催。
- 橋下の利活用として「Bar 本町橋 1913」を開催。

【検証結果】

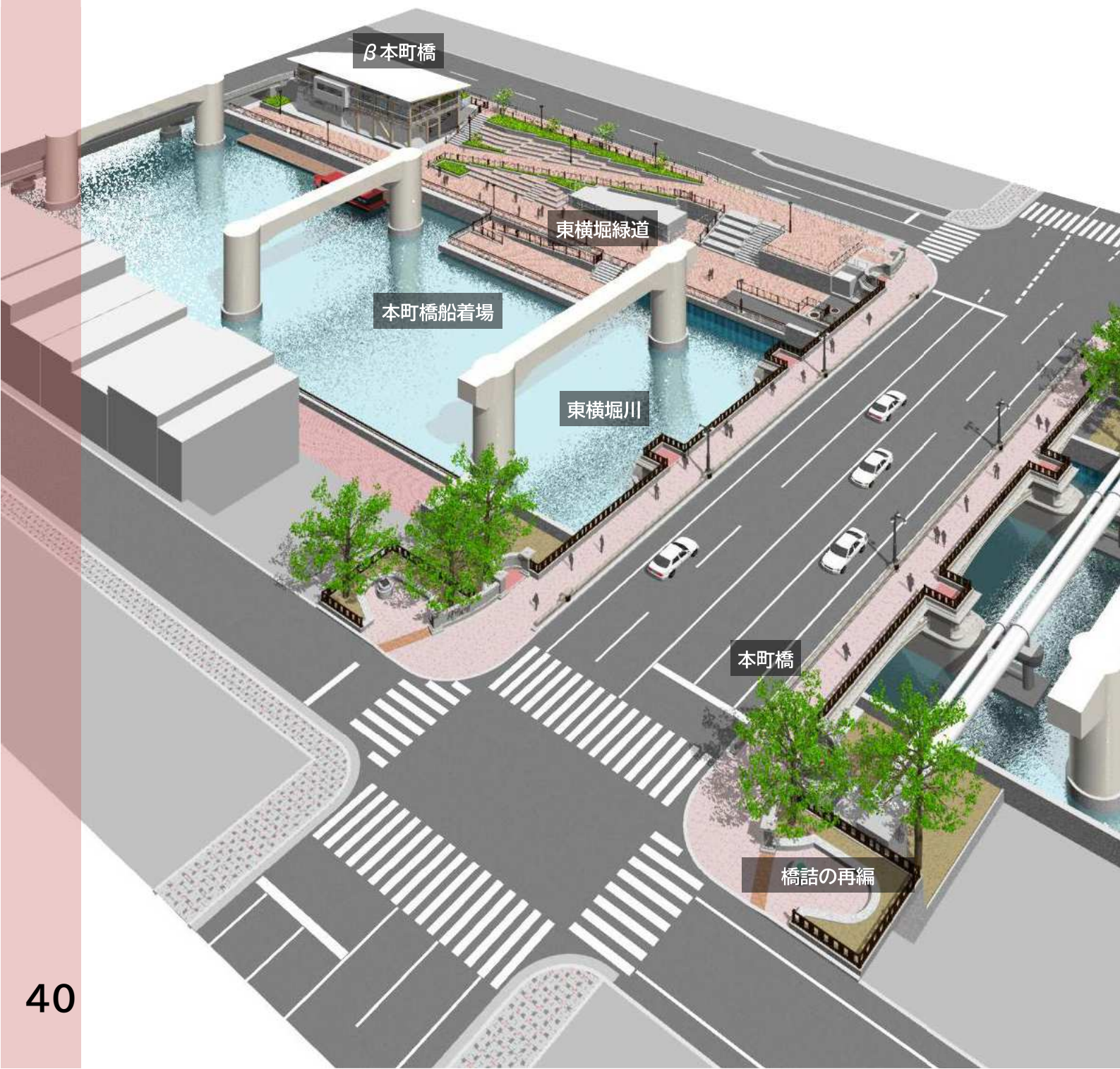
- ① 未利用地は収益活動を行う場として有効であることを確認
- ② 橋下は多様な利活用が行えることを確認
- ③ サインは橋上と橋下をつなぐ要素として可能性があることを確認
- ④ コンペでの多様なアイデアから、橋詰の活用はマネジメント推進の可能性を確認



本町橋

3. 橋とエリアの将来像を示す2030ビジョン

- 歴史性のある本町橋は、現状においても市民に愛され、様々な方々によるマネジメントが行われています。
- 更なる担い手として、これまでに関わりのない企業などが支援をしたくなる橋づくりを行い、持続可能なマネジメント体制の構築と魅力向上につなげるものとします。
- あまり活用がされていない橋詰空間のあり方、ゴミのポイ捨てや不法占用などの課題解決方法を社会実験を通じて検証し、その結果をふまえて再整備や休憩施設の設置などの検討を進めます。
- また、遊歩道整備により通行が可能となった橋下空間の利活用スキームを検討します。



- 既存ケヤキの活用
- 環境に配慮をした橋詰の整備
- 持続可能な地域活動を推進する仕組み



Sustainable
環境にも経済的にも

水都大阪にふさわしい橋上・橋下空間の
魅力向上に向けたコンセプト

地域活動の場となる橋

Well Being
居心地よく
また行きたくなる

Connect
地域と繋がる
人とも繋がる

- 夏場のクールスポットとなる既存のケヤキの緑陰
- 橋下空間の利活用
- 多様なニーズに対応する空間

- 清掃、ごみ拾い活動は定期開催
- 大学・地域による橋詰めのデザイン



橋詰の利活用



地域による緑化



橋下空間の利活用(水都大阪ブリッジテラス2025秋)

本町橋

4. 2030に向けたロードマップ

「水都大阪ブリッジテラス2030ビジョン」策定 ▼

第1フェーズ(～2025年)

第2フェーズ(2026年～)

試行期間

活動促進期間

利活用ポテンシャルの検証

■ ハード施策 [空間デザイン/機能]

■ バルコニー空間のあり方の検証

- バルコニー部の高欄ライトアップや地域活動は不適切な利用の抑制効果があることを確認
- 景石の撤去

■ 橋下空間のあり方の検証

- 橋下は多様な利活用が行えることを確認
- 地域活動は不適切な利用の抑制効果があることを確認

■ 橋詰空間の利活用試行・管理区分の検証

- 未利用地は収益活動を行う場として有効であることを確認
- コンパでの多様なアイデアから、橋詰の活用はマネジメント推進の可能性があることを確認

■ エリア活動を促進するインフラ設備の検証 (電気・水道・倉庫)

- 電気設備の改良
- 水道設備の設置
- 活動に必要な倉庫容量を確認(β本町橋連携)

■ 安全・安心・魅力の向上を図る空間の検証

- 橋下ライトアップによる防犯効果を確認

■ エリアと橋をつなぎ回遊性を向上させる案内誘導サインのあり方の検証

- サインは橋上と橋下をつなぐ要素として可能性があることを確認

● ソフト施策 [マネジメント]

● プレイヤーの発掘(求められるコンテンツ)

- 清掃・花植え活動の実施
- 橋詰、橋下空間の運営、事業者ニーズがあることを確認

公的な
まちづくり
団体の公募・指定

■ ハード施策 [空間デザイン/機能]

- 橋詰空間の検証・整備
- 歩道舗装の改修
- 案内誘導サインのあり方の検証(継続)
- ライトアップの本格実施

[第2フェーズの主な取り組み]



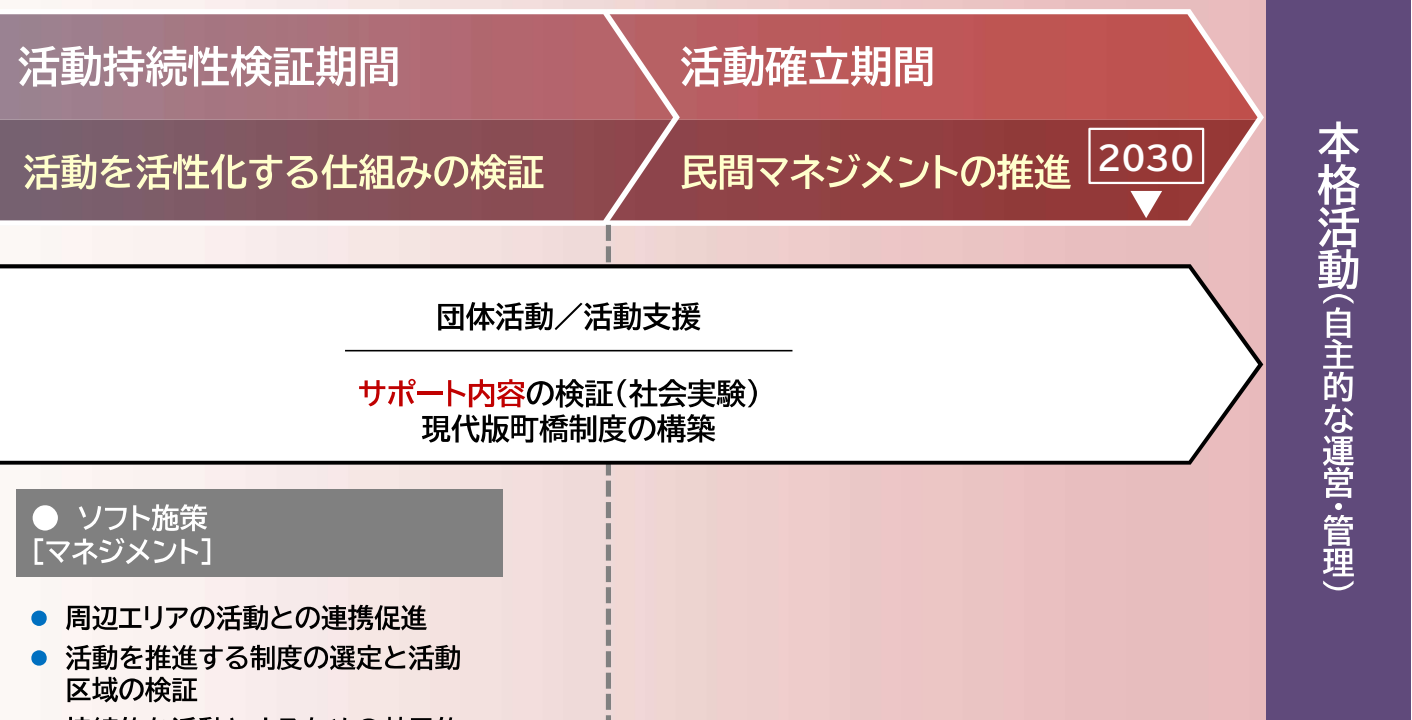
桁・橋脚

- 安全性を確保するとともに、水都大阪の資源、大阪市指定文化財を美しくするライトアップの本格実施に取り組めます。

※(仮称)橋上空間等のマネジメント基本方針
橋の維持管理や賑わい創出などのマネジメントに係る
考え方やルールをまとめたもの

▼「(仮称)橋上空間等のマネジメント基本方針※」策定

第3フェーズ(2028年～)



活動持続性検証期間

活動確立期間

活動を活性化する仕組みの検証

民間マネジメントの推進

2030

団体活動/活動支援

サポート内容の検証(社会実験)
現代版町橋制度の構築

本格活動(自主的な運営・管理)

● ソフト施策
[マネジメント]

- 周辺エリアの活動との連携促進
- 活動を推進する制度の選定と活動区域の検証
- 持続的な活動とするための効果的なマネタイズ(活動財源)のあり方の検証
- 飲食販売の定期化・定着化の検証
- マネージャーを育成する勉強会などの開催や手続きの実践



案内誘導サインのあり方の検証

ライトアップの本格実施

橋詰空間の検証・整備/飲食販売の定期化・定着化の検証



植栽・親柱



バルコニー



橋詰の再編イメージ
本町橋橋詰広場デザインコンペ最優秀作品



マルシェ



高欄

- 江戸時代、橋のたもとの詰め広場(橋詰)は交通や情報の拠点、コミュニティスペースとして活用されていました。このように橋と川、まちをつなぐ拠点として、憩い・交流空間の創出、情報発信、地域コミュニティの活性化を図る橋詰空間の形成を進めます。

おわりに

水都大阪ブリッジテラス2030ビジョン策定にあたり、水都大阪ブリッジテラス社会実験などの取組みを行ってきました。社会実験では、産官学民で構成する水都大阪ブリッジテラス実行委員会[※]を中心としながら、地元地域、地元店舗、企業、学校、まちづくり団体、他都市などの協力、参画をいただき、行政だけでは対応できない多様な取組みを行うことができました。

心より感謝申し上げます。

今後、ビジョンで示している、水都大阪にふさわしい橋上空間に転換していくためには、水・時・人が交わる、まちの拠点に向けた取組みを進めていくことが必要であると考えています。

水都大阪ブリッジテラス2030ビジョンの実現に向けて、あらためて皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

水都大阪ブリッジテラス実行委員会^{※1}（中之島ガーデンブリッジ/錦橋/水晶橋）

- 大阪工業大学 空間情報学研究室/大阪公立大学 景観計画学研究室/大阪公立大学 都市計画研究室
大阪産業大学 川口研究室/大阪市建設局道路河川部橋梁課/大阪府西大阪治水事務所/北新地みらい会議
京都大学 景観設計学分野/京阪ホールディングス(株)/(株)STUDIO_C/水都大阪コンソーシアム
大同生命保険(株)/(仮称)中之島広場沿道連絡会/(一社)中之島まちみらい協議会/中之島連合振興町会
(一社)日本シティサップ協会/(一社)水辺ラボ

- 本町橋は東横堀川水辺プラットフォーム^{※2}と連携し開催

東横堀川水辺プラットフォーム

有識者/東横堀川水辺再生協議会/(一社)日本シティサップ協会/(一社)水辺ラボ/大阪商工会議所

大阪市中央区役所/大阪市経済戦略局/大阪市建設局

※1:2025年3月までは「中之島ブリッジテラス実行委員会」

※2:2025年3月までは「東横堀川水辺プラットフォーム検討会」



水都大阪ブリッジテラス2030ビジョンについて

- 本ビジョンは、都心部における橋のめざすべき姿、取組みの方向性を示したものです。
- 今後、社会実験での検証や担い手となる団体をはじめ多様な関係者間で協議・調整を図りながら橋の特性に沿った取組みを進め、水都大阪にふさわしい橋上空間の魅力向上をめざします。

水都大阪ブリッジテラス2030ビジョン

発行:2026年5月

大阪市建設局道路河川部橋梁課

〒559-0034大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟6階